

SFRM通信

一般社団法人 難燃材料研究会

1. 材料代替の難しさ

最近、「この材料は規制対象になる可能性があるため、代替を検討したい」という話を耳にする機会が増えている。実際に取り組んでみると、その難しさを実感することが多い。有望な候補が見つけたと思っても、最終的に採用に至るものは限られているのが現実である。

難燃材料の場合、目標とする難燃性能だけであれば実現可能な代替案が見つかることもある。しかし、それがそのまま実用につながるとは限らない。加工性の変化や機械特性への影響、コストの上昇、さらには原料供給の不安定さなど、複数の要素が同時に影響する。用途や評価規格が異なれば求められる特性も変わり、単一の「正解」が存在しないことも少なくない。さらに、周辺部材や成形条件との相互作用も無視できず、思わぬところで問題が顕在化することもある。

特に、長年使用されてきた材料の場合、それ自体だけでなく周辺部材や設計も含めて最適化されている。そうした積み重ねが、代替を一層難しくしているのだと感じる。代替とは単なる材料の置き換えではなく、設計全体を見直すプロセスが必要であり、その視点がこれからの材料開発においてますます重要になるのではないだろうか。

(難燃材料研究会 運営委員 常泉)

2. 創立 30 周年記念シンポジウム 申込受付を開始しました！

一般社団法人難燃材料研究会より、創立 30 周年記念となる「2026 年度 第 12 回 難燃シンポジウム」開催のご案内です。

本シンポジウムでは、「先端自動車用樹脂材料の技術・規制の動向」を中心テーマに、自動車業界での樹脂材料開発や化学物質規制の最新動向、難燃剤の規制や代替化についての講演を行います。

■開催概要

日時:2026年9月8日(火) 10:00~17:00

会場:京都工芸繊維大学 60 周年記念館(現地会場+オンライン配信のハイブリッド開催)

■プログラム

創立 30 周年記念の挨拶に続き、「先端自動車用樹脂材料の技術・環境規制の動向」を中心テーマとした講演が行われます。国内外の難燃剤規制の動向や代替剤の開発状況、自動車メーカー各社による技術・研究発表、一般応募発表などが予定されています。

詳細なプログラムや講演者の情報は、[申込ウェブサイト](#)をご覧ください。

■申込方法

申込締切:2026年8月30日(日) 午前12:00まで

下記の申込フォームよりお申し込みください。

URL: <https://vb.wufoo.com/forms/q1rqsdqm0qtvflr/>

※早割締切:2026年8月16日まで

※懇親会締切:2026年8月18日(火) 午前12:00まで

■一般応募発表の募集

新しい難燃技術や関連製品に関する発表を募集しています。

対象:研究者、学生、企業

発表時間:20分間(質疑含む)

発表費用:10,000円(学生は無料、別途シンポジウムへの参加費用が必要)

採択通知:2026年8月7日(金)までにご連絡

URL: <https://sfrm.or.jp/2026/06/23/2026-12th-fr-symposium-general-app-info/>

■懇親会のご案内

本懇親会は国際会議「PACMA2026」の Welcome Reception と共同開催となります。

日時:2026年9月8日(火) 18:30~20:30

会場:ホテルグランヴィア京都

参加費:8,000円

※PACMA2026 参加予定の方は個別のお申し込みは不要です。

3. 【PACMA 2026】難燃材料分野 日本初の国際会議開催 | 発表者・展示出展・参加者募集！

2026年9月9日(水)~11日(金)、京都工芸繊維大学にて国際会議 PACMA 2026 (Polymer Additive, Composite and Manufacturing Asia 2026)を開催いたします。

PACMA 2026 は、高分子添加剤、難燃材料、複合材料、成形加工技術をテーマとした国際会議です。

特に難燃材料分野においては、日本で初めて開催される本格的な国際会議として、世界中の研究者・技術者が京都に集結します。

本会議では、欧州・アジア・日本のトップ研究者に加え、将来の産業界を担う若手研究者も多数参加し、最新の研究成果と産業応用について発表いたします。

現在、

- ✓ 発表者(口頭発表・ポスター発表)
- ✓ 展示ブース出展企業✓
- ✓ スポンサー企業
- ✓ 参加者

を募集しております。

■ 開催概要

- ✓ 名称:PACMA 2026(Polymer Additive, Composite and Manufacturing Asia 2026)
- ✓ 会期:2026年9月9日(水)~11日
- ✓ ウェルカムレセプション: 2026年9月8日(火)
- ✓ 会場:京都工芸繊維大学(京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町19)
- ✓ 公式サイト:<https://pacma2026.com/>

■ PACMA 2026 の特徴

- ✓ 難燃材料分野では日本初開催の国際会議
- ✓ 世界トップレベルの研究者15名以上が講演
- ✓ 若手研究者とのネットワーキング機会
- ✓ EV・蓄電池・航空宇宙・電子材料・建築材料の最新技術動向を把握
- ✓ 海外研究機関との共同研究・技術提携の機会
- ✓ 発表・展示・交流を通じた新たなビジネス創出

■ 基調講演(Plenary Talk)

【Prof. Frank HENNING】

Karlsruhe Institute of Technology(ドイツ)

“Next-Generation Composite Technologies: Materials and Processes”

日本語テーマ:「次世代複合材料技術と先進成形プロセス」

自動車・航空宇宙分野を中心とした最先端複合材料技術を紹介します。

【Prof. Chaobin HE】

National University of Singapore

日本語テーマ:「先端高分子材料と未来の機能性材料開発」

高分子材料の高機能化と産業応用の最新動向を紹介します。

4. 会長インタビュー掲載のお知らせ

一般社団法人 難燃材料研究会の大越雅之会長(岐阜大学)が、ゴム・プラスチック業界誌「ポリマーTECH」のインタビューに登場しました。

研究会は今年で設立 30 周年を迎え、日本で唯一の難燃材料専門組織として、教育・研究・普

及を通じて産業界を支えてきました。

インタビューでは、研究会の歩み、技術支援体制、国際規制強化への対応、難燃材料の現状と将来展望について語られています。特に、EU の化学物質規制強化や中国のアンチモン化合物輸出管理など、国際環境の急激な変化に対し、日本の産業界が直面する課題と必要な戦略が詳しく紹介されています。

記事全文はこちら

<https://www.gomutimes.co.jp/?p=212506>



【発行元】

一般社団法人 難燃材料研究会

Web: <https://sfrm.or.jp/>

Mail: sfrm@supportoffice.jp

Tel: 03-5946-8573